

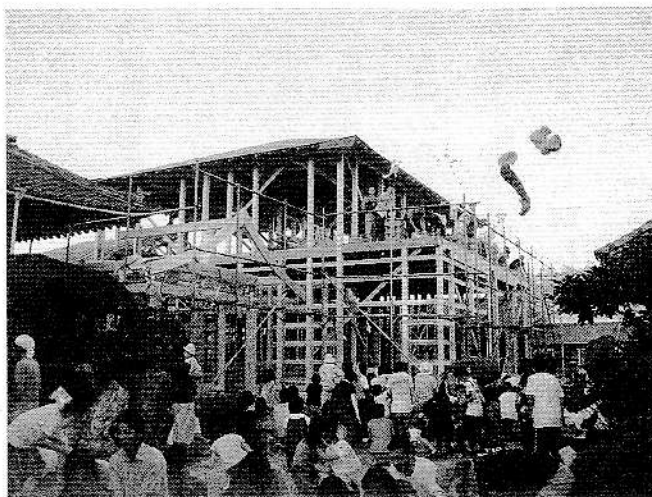
# 心ゆたかに

第96号 発行日 平成23年11月1日

発行 株式会社天峰建設 袋井市横井 115-3  
TEL0538-43-6773 FAX0538-43-7250  
ホームページ <http://www.tenpou.co.jp/>  
Eメール [tenpou@mail.wbs.ne.jp](mailto:tenpou@mail.wbs.ne.jp)

## 曹洞宗華蔵寺様で上棟式

静岡県浜松市北区三ヶ日町



華蔵寺様の上棟式の様子（平成23年9月）

去る九月十日（土）、静岡県浜松市北区三ヶ日町の清浄山華蔵寺様（伊原憲幸住職）で庫裡の上棟式が執り行われました。

建て方工事は順調に進み、無事に上棟式をむかえることができました

た。式典当日は天候に恵まれ、早い時間から大勢の来場者が会場となった境内を埋め尽くしました。住職の厳かな読経の中、参列者一人一人が焼香して工事の無事を祈りました。

式典が終わると、いよいよお餅撒きの始まりです。建設中の庫裡からだけではなく、本堂や境内に準備したトラックからお餅が撒かれました。タオルを巻いたお餅が撒かれると、ヒュルヒュルと流星の様にきれいに尾を引いて飛んでいきます。来場者はたくさんのお餅を拾って満足そうに帰りました。完成は来年四月末の予定です。

## 曹洞宗龍谷寺様で上棟式

静岡県浜松市南区飯田町

去る九月十九日（月）、静岡県浜松市



龍谷寺様の上棟式の様子（平成23年9月）

南区飯田町の瑠璃山龍谷寺様（笹岡賢司住職）において、庫裡書院の増築の上棟式が執り行われました。式典は寺族や建設委員ら関係者の方のみの参列で、肅々と行われました。参列者全員が焼香して、今後の工事の無事を祈りました。完成は今年の十二月末の予定です。

## 故井上文夫氏を偲んで

天峰建設代表取締役社長 澤元教哲

今号の中面の見出しをご覧になって「あれ？」とか「え？」とか思われる方もいらっしゃるかと存じますが、長い間本紙の中面の記事を執筆していただいております。日本テンプルヴァン(株)社長の井上文夫氏が、去る九月上旬、突然お亡くなりになりました。講演会などにお招きされたりして、氏とお付き合いのあったご寺院様は既にご承知かと存じますが、この紙面を借りて改めてご報告させていただきます。

八月末に本紙の記事の今後について話をしたばかりでしたので、非常に驚きながらも、社葬の会場の東京までお別れのために行って参りました。実は、前号の原稿を頂いた折に、「長年同じ者が記事を書き続けると、読者に飽きられるかもしれないので、

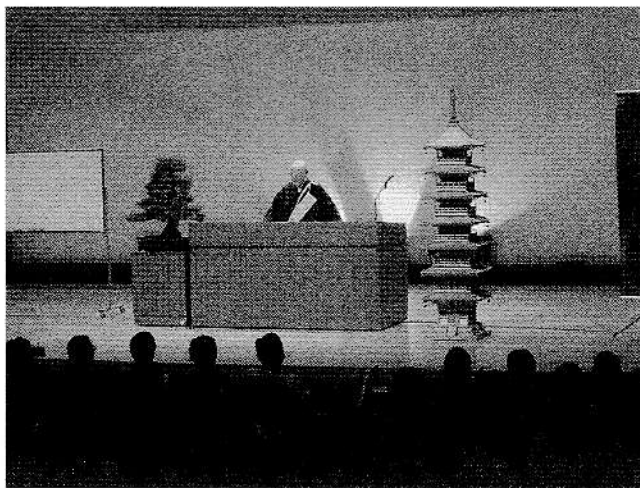
百号を期限に別の執筆者を探されてはどうか？」と、故井上氏から提案されておりましたが、氏自身が、健康的な面や体力的な面を心配されておられたのかもしれないと、今更ながらに思うばかりです。

氏は愛知県のお寺のお生まれとお育ちのため、単なる経営コンサルタントとしてだけではなく、仏教界に詳しいアドバイザーとして、様々な提案や提言、講演や執筆活動をなさっておられました。なかなかこのような方はいらつしやらないと思うので、今後の本紙の記事を書いて下さる方を探すのも容易ではないだろうと思うにつけ、本当に惜しい方を亡くしたのだなと思いは知らされます。平成七年に新宿にお訪ねして本紙の記事をお願いし、快諾していただいたことが昨日のことのように思い出されます。平成八年正月の第一号から十六

年の長きに亘って大変お世話になった感謝の気持ちとともに、改めて故井上氏のご冥福をお祈り申し上げます。

### 清水の舞台から

プロジェクト7甍れ！七重塔 第四回講演会



清水寺貫主森清範様の講演の様子

去る十月二十二日(土)、静岡県磐田市上新屋のアミューズ豊田において、右記の講演会が開催されました。

(次頁へ)

京都から清水寺貫主の森清範様をお招きしての講演と事前に充分ピアーールさ  
れていたこともあつてか、会場となったホ  
ールは満席で立ち見客も出る程の盛況と  
なりました。

長い歴史を持つ清水寺の舞台について  
の興味深い蘊蓄(うんちく)から仏教につ  
いてまで、幅広くお話されました。巧みな  
話術で会場内に笑いを起こしながら、わ  
かりやすい言葉で命の大切さを訴えられま  
した。

貫主様は、磐田市見付の見性寺住職の松  
山正宗様とご縁で、何度か磐田市にいら  
つしやつたこともおありで、磐田市の遠江  
国分寺跡公園に七重塔が再建されること  
を期待しておられました。プロジェクト7  
のメンバーとしては頼もしい限りです。

地元名士の佐藤典子舞踊研究所主宰は、  
貫主様へのお礼の言葉の中で、「海外で自  
分の宗教は何かと問われて困った経験が  
あり、これからは、自信を持って答えるこ  
とが出来ると、嬉しそうに述べられました。

### 第三九回三共特別フェア

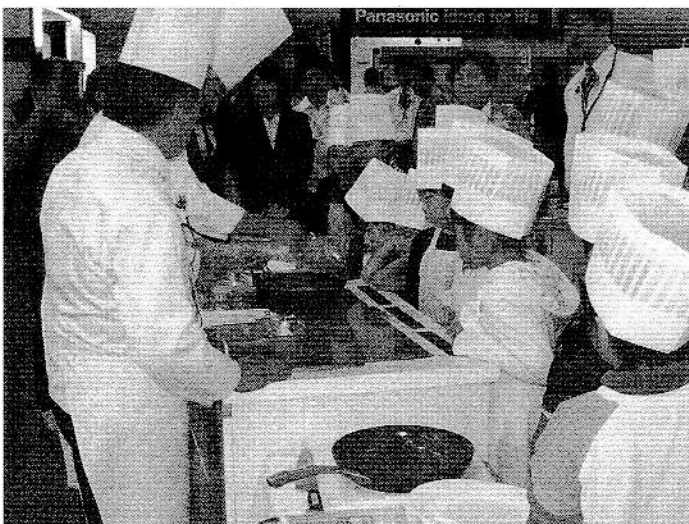
地元の住宅祭二〇一一



バルーン・ピエロによる風船のプレゼント

去る十月二十九日(土)と三十日(日)

の二日間に亘り、静岡県浜松市東区流通元  
町の浜松市総合産業展示館で、株式会社三  
共建材による三共特別フェアが開催され  
ました。



コラボイベント「こども料理教室」の様子

パナソニックを中心とした最新の住宅  
設備の展示ばかりではなく、省エネをテー  
マとした講演会や、ホテルコンコルド浜松  
のシェフによる「こども料理教室」、森山  
雪子と素敵な仲間達によるソフト・ジャズ  
コンサート、バルーン・ピエロの風船、購  
入者を対象とした「びつくり抽選会」と、  
子供まで楽しめる内容で、大盛況でした。



赤防災ずきんちゃん  
社団法人日本損害保険協会の  
マスコットキャラクター

# 知って得する

## 損害保険の話



今年三月十一日の東日本大震災ばかりではなく、いくつかの台風など、大きな災害が日本を襲った年でした。九月二十一日に地元静岡県にも大きな被害をもたらした台風十九号では、天峰建設の顧客ばかりではなく、会社の設備や私の自宅の屋根や倉庫のシャッターまで、身近なところでも被害が出ました。今でも瓦屋さんや板金屋さんにはたくさんのお客さんを抱えて大忙しです。ブルーシートで応急的に養生しただけの住宅もまだよく見かけます。そんな災害による被害でも、亡くなってしまった命は取り返しがつきませんが、物的な損害は何とか補填が出来る場合もあります。今回はそんな災害に備えるための損害保険の話です。

などの自然災害に備える分野は火災保険になります。火災保険には住宅総合保険と住宅火災保険があります。名前だけ聞くと火事の被害の補償だけかと思えますが、住宅総合保険なら、火災・落雷・風災・雪災・水災・ガス爆発・自動車の飛び込みによる被害・給排水設備の故障による水漏れの被害・騒じょうなどによる破壊・盗難など、幅広く補償してくれます。住宅火災保険でも火災以外に落雷・風災・雪災・ガス爆発なども補償してくれます。阪神淡路大震災以来よく耳にするようになった地震保険は、単独で加入する保険ではなく、この火災保険にセットで加入します。

だ掛け金の割高感など難しい問題があるようです。ちなみに地震保険は全国を地震のリスクによって四段階に分けて加入料の算定に使っていますが、静岡県は四段階の中で一番リスクが高い地域です。今回の台風十九号の被害を受けて、結構火災保険に加入されていて助かったというケースが多かったです。以前は加入していたがいつの間にかやめてしまっていた、新しい建物には保険がかけてあったが古い方にはかけてなかった、最初から加入していなかったというお客様もいらっしゃいました。保険はお守りのようなもので、何も無ければ掛け金が無駄のように感じますが、何かあった時には本当にありがたいものになります。もしもの場合に備えて、加入している保険の見直し、入っていない場合は加入の検討も大事な備えになります。